



# 子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」  
フラグシップ園会報  
(2012年12月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264  
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



2012年、最後の子森通信です。

「子どもの森づくり運動」は、今年も本当に充実した年となりました。お忙しい中、子どもたちのより良い未来づくりのために共に活動していただいた実施園の皆様に、あらためて敬意と感謝の意を表したいと思います。新しい年が、皆様にとってより充実した年となります様お祈り申し上げます。

## (目次)

1. 子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイブ」活動レポート
2. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート
3. 「エコプロダクツ2012」出展レポート
4. 事務局からのお知らせ

### ■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

### ■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会  
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾  
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会  
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会  
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



## 1. 子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイブ」活動レポート

子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ2012」(以下「復興GW」)において、東北で拾われたどんぐりは、全国の幼稚園・保育園に届けられ、それぞれの園で苗木を育てる活動が始まりました。21012年12月現在、全国で30の幼稚園・保育園が参加してくれました。そんな活動の中から、広島県の保育所「みのり愛児園」からのレポートをご紹介します。(＊事務局では、ひきつづき、「復興GW」に関する皆様からの活動レポートを募集中です。)

(●以下、広島県・保育所「みのり愛児園」杉本 久恵先生からのレポートです。)

秋の実りの「どんぐり」は、子どもたちにとって、歌やあそびで親しんでいる大好きな宝物です。小さな粒を握りしめてはなさない子・・・どんぐり列車やどんぐり独楽・・・どんぐりに新しい命を吹き込む子・・・、「どんぐり」への思いは、毎年見られる秋の光景です。

### 東北の保育園のおともだちから、「どんぐり」がとどきました！

岩手・宮城両県の保育園児が集めたどんぐりが、子どもの森ネットを通じて全国の保育園へ届けられました。頂いたどんぐりをみんなで植え、育てていく活動を通して、東北の子もたちの復興・パワーへ繋げていけますよう急いでいます。



でも今年は違います。宮城・岩手両県5園のお友だちから届いた贈り物・・・ふわふわの綿の中から10粒のかわいいどんぐりが出てきました。保育士の指さす先のどんぐりを愛おしそうに見つめる乳児組さん・・・、地震や津波の様子を見たり聞いたりした記憶をよみがえらせて真剣な眼差しで話を聞く幼児組さん・・・。東北の保育園のお友だちに心を寄せながら、見えない繋がりに気持ちを通わせ、一粒一粒大切に・・・大切に・・・植えていきました。東北の子もたちの復興・パワーにつながるように・・・そして自分たちもかけがえのない体験を通して心のパワーに繋がるように・・・ 未来を担う子どもたちの見えない絆が、どんぐりを！そして子どもたちを！大きく育てます。きっと……



いわてけん・みやぎけんのほいくえんのみなさん  
どんぐりありがとう(\*^o^\*)  
たいせつにそだてるよ！  
みんなでいっしょに  
おおきくなっていこうね！  
ひろしま  
ほいくしよ みのもりあいじえん



園児さんからのメッセージ

## 2. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート

フラグシップ園の植樹活動風景をご紹介します。活動の詳細はホームページをご覧ください。

### ■愛媛県「小富士保育園」植樹会

日時: 2012年11月8日(木) 主催: 小富士保育園 植樹場所: 園庭

日本郵政グループ: 松山三津郵便局 局長 松山秀明氏



## 3. 「エコプロダクツ2012」出展レポート

子どもの森づくり運動では、今年も国内最大の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展しました。

【日時】2012年12月13日(木)、14日(金)、15日(土) 【会場】東京ビッグサイト(東1～6ホール)

ワークショップでは、「どんぐり紙はさみづくり」が実施され、大盛況でした。



#### 4. 事務局からのお知らせ

##### ●子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイブ」(「復興GW」と表記)参加園募集のお知らせ

今秋から始まった「復興GW」には、現在、全国で30園の幼稚園・保育園にご参加いただいています。事務局ではさらに多くの園にご参加いただければと思っております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。参加お申し込みの際は、別紙申込み用紙をご利用下さい。ホームページからもお申し込みいただけます。

##### ■子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動概要

###### ①2012年秋

子どもたちが、被災地の森で拾ったどんぐりが、事務局経由で全国の幼稚園、保育園に送られ、それぞれの園でポットに植えられます。

###### ②2013年春

植えられたどんぐりの種は、全国の幼稚園・保育園で春に一斉に発芽します。苗木を育てる子どもたちは被災地の子どもたちを、被災地の子どもたちはどんぐりを育てている全国の子どもたちを互いに思い合ひながら、大切に苗木として育てられます。

###### ③2014年春

それぞれの幼稚園・保育園で育てられた苗木が被災地に送り返され、2014年5月22日、グリーンウェイブの日に被災地に植えられます。



##### ●どんぐり博士の育苗講座スペシャル～東北復興グリーンウェイブ」編②～

被災地で拾ったどんぐりの、全国への配布が始まりました。「東北復興グリーンウェイブ」の育苗では、今までの活動と違う点が少しあります。そこで今回の講座では、その違いを抜き出し、留意すべきことを述べてみたいと思います。



前回、復興グリーンウェイブ(以後復興GW)では、ポット苗に育ててとお願いしました。そこで今回はどんぐり植え付けの実際についてです。これは園独自の育苗にも通用しますので、皆さん読んでくださいね。

###### ①どんぐりを植え付ける容器

今までは杉材製のプランターでした。エントランスなどに置いても様になっていましたね。魅力的ですが、復興GWでは、東北への輸送の事情等で、できればポットへ直接植え付けて下さい。直径が15cmの柔らかいポリポットです。土が多いほど苗の生育に有利です(水や肥料の持ちが良い)。でも大きすぎると、根が広がり、植樹時に根を傷めて枯れる原因になります。この大きさは、土が多く根を適度にまとめる大きさです。

###### ②使用する土

畑の土で充分です。購入する場合は、園芸用培養土を用いるのが手軽です。種類が多いですが「育苗用・ポット用」と記載されているものが良いでしょう。無い場合は、あまり軽い土は避けてください。安定が悪く乾燥しやすいです。また培養土の元になる「黒土」「腐葉土」などを単体で使うのも避けてください。育苗にはバランスの悪い土です。

###### ③どんぐりの植え付け

まずポットに土を目一杯入れてください。そしてどんぐりに土を軽く掛ける程度に植え付けてください。特に畑の土を使用した場合に、その土が水を含むと硬く閉まる性質なら、どんぐりが見えている程度が良いでしょう。

###### ④事務局の支援

最後に、皆さんが手にしているどんぐりは自然そのものです。マニュアル通りに世話しても必ずうまく行くものではありません。特に今回は、どんぐりのふるさとから遠く離れての育苗です。思うように行かない場合も自然の営みと受け止めて、対処頂ければと思います。そのために事務局では、適切な支援ができるよう、バックアップ用の苗を育てるなど準備を進めております。育苗での状況を、折を見て事務局に連絡頂ければ幸いです。事務局も各園と協力して、復興GWの苗を育てて行きたいと考えています。